

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援 Co-Coテラス+		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 11日		R6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 35人	(回答者数)	28人
○従業者評価実施期間	R7年 1月 7日		R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 3日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・家族支援として、HUGシステムを導入し、日々の子供の発達の状況や様子を伝えながら、保護者と共通理解を図ることができている。	・保護者様の就労状況や家庭状況を考慮し、LINEを利用した連絡や相談が気軽にできるようサポートを行っている。	・参観や見学等の機会を設定し、ご家族に療育を身近に感じてもらえきっかけとなるよう、さらなる取り組みを行っている。
2	・ボルダリングやサーキット、ターザンブランコ等を取り入れた、感覚統合を促す活動の充実。 ・ICT学習ソフトの活用で、個々の発達段階に応じた課題提供の工夫。 ・個別課題や宿題のサポートで、学習に向かう姿勢や、基礎的な学習スキルを獲得できるよう、取り組みを行っている。	・できることや好きな活動だけではなく、苦しい課題や活動に向かう姿勢を育みながら、子供達の自信に繋げていけるよう、意識的に取り組んでいる。	・子供達一人一人のスマールステップで「できた」の達成感を獲得できるよう、専門的なアセスメントツールを使用しながら、発達段階に応じた課題の提供を工夫していく。
3	・事業所には、保育士以外に、学校教育や医療・福祉事業所、相談支援など、多面的な視点から、子供やご家族をサポートできるよう、より専門的な知識を持った職員が在籍し、対応ができるよう体制を整えている。	・各専門職がプログラム作成に関わり、専門的支援実施計画書を作成している。 ・専門職の配置、経歴に対する周知を、ホームページに公開している。	・今回の自己評価の結果を踏まえ、客観的な評価やアセスメントを行い、強みを活かした支援に対する環境調整や配慮を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子供達と地域との交流機会や、保護者同士の交流機会を計画、提供不足。	・個別の発達支援に重点を置いているため、地域の中での支援や地域連携に対する取り組み不足。 ・年間計画として立案していなかったため、意識不足。	・長期休暇の利用の場において、計画的に地域施設の活用の日を設けていく。 ・短縮授業日、長期休暇には、近くの八幡神社への散策や山登り、商店街の散策など、地域の方との交流の機会を積極的に増やしていく。
2	・緊急時等の非常時等への対応に対する保護者への周知や発信不足。	・防災避難訓練などの実施や、BCPの策定、緊急時の対応マニュアルは作成していたが、契約時のみの説明にとどまり、保護者の方への周知機会が不足していた。 ・日々の療育の様子の中で、訓練の様子を写真と共に掲載していたが、事前の告知もなかったため、情報発信不足。 ・年間計画として立案していなかったため、意識不足。	・防災訓練や緊急時の対応など、契約時以外にも、年度はじめに保護者へ周知していく。 ・LINE等を通じて、保護者の方へ事前に取り組みの発信をしていく。
3			